

Dell M109S プロジェクタ ユーザースガイド

モデル：M109S

メモ、注意、警告

-  **メモ**：プロジェクトを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意**：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。
-  **警告**：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。



Complies with IEC 60825-1:1993+A11997+A2:2001 and EN 60825-1:
1994+A1:2002+A2:2001
RED: 634 nm, Green: 518nm, Blue: 456nm maximum: 5.38 mW

この文書の情報は、事前の通知なく変更されることがあります。
© 2008 すべての著作権は Dell Inc. にあります。

これらの資料について、Dell Inc. の書面による許可なく複製することは、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書に使用されている商標：Dell および DELL のロゴは、Dell Inc の商標です。DLP および DLP® のロゴは TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED の商標です。Microsoft、Windows、および Windows Vista はいずれも米国 またはその他の国の Microsoft Corporation の登録商標です。

本書では上記記載以外の商標および会社名が使用されている場合がありますが、これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。

モデル M109S

2008 年 8 月 Rev. A00

目次

1	Dell™ プロジェクタ	5
	お使いのプロジェクタについて	6
2	プロジェクタの接続	7
	コンピュータへの接続	8
	VGA ケーブルによるコンピュータへの 接続	8
	DVD プレイヤーの接続	9
	コンポジットケーブルによる DVD プレイヤー の接続	9
3	プロジェクタの使い方	11
	プロジェクタの電源を入れる	11
	プロジェクタの電源を切る	11
	プロジェクタフォーカスの調整	12
	投射画像サイズの調整	13
	コントロールパネルの使い方	14
	オンスクリーンディスプレイの使い方	16
	メインメニュー	16
	自動調整	16
	入力ソース	16
	ピクチャ (PC モード)	17

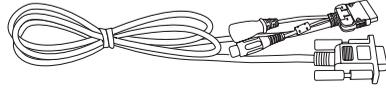
	ピクチャ（ビデオモード）	18
	ディスプレイ（PC モード）	19
	ディスプレイ（ビデオモード）	20
	設定	20
	その他	22
4	プロジェクタのトラブルシューティング	23
5	仕様	25
6	デルへのお問い合わせ	27
7	付録用語集	29

Dell™ プロジェクタ

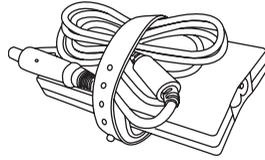
プロジェクタには、下記の品目がすべて付属しています。すべての品目が揃っていることを確認し、不足しているものがあれば、デルにお問い合わせください。

パッケージの内容

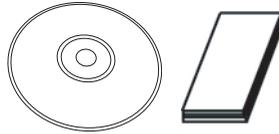
マルチ入力ケーブル



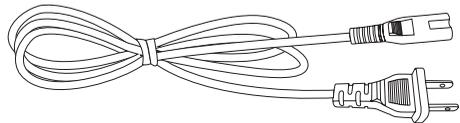
AC アダプタ



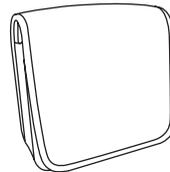
ユーザズガイドメディアおよび
マニュアル



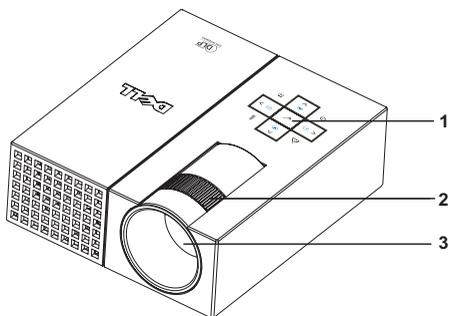
電源ケーブル



ポーチ



お使いのプロジェクトラについて



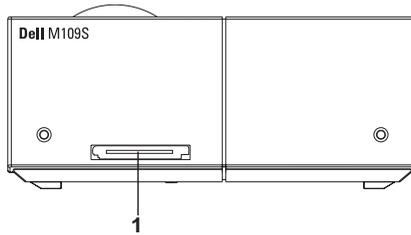
1	コントロールパネル
2	フォーカスリング
3	レンズ

警告：安全にお使いいただくための注意

- 1 多量の熱を発生させる装置のそばでプロジェクトラを使用しないでください。
- 2 ほこりの多い場所でプロジェクトラを使用しないでください。ほこりは、プロジェクトラの故障を起こす原因となるため、自動的にシャットダウンされます。
- 3 プロジェクトラは必ず、換気のよい場所に設置するようにしてください。
- 4 プロジェクトラの通気孔や開口部をふさがないでください。
- 5 プロジェクトラは、周囲温度が $5^{\circ}\text{C} \sim 35^{\circ}$ の範囲内で動作させるようにしてください。

 **メモ：** 詳細については、プロジェクトラに付属している『製品情報ガイド』を参照してください。

プロジェクタの接続

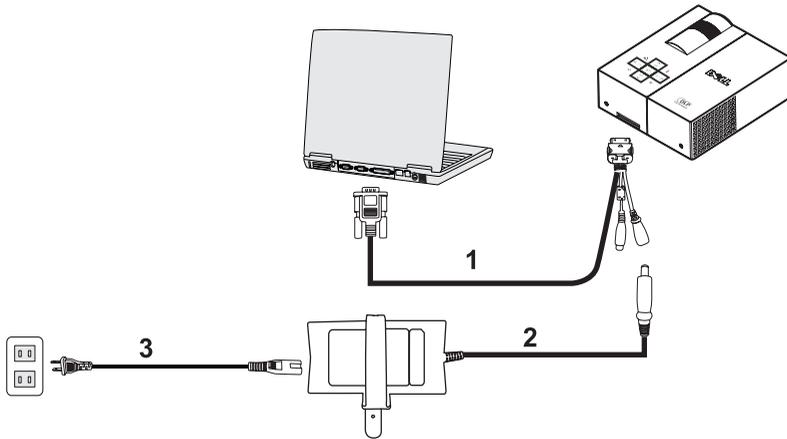


1	マルチ入力コネクタ
---	-----------

! 警告：この項に示す手順を始める前に、6 ページの **安全** にお使いいただくために **⚠** を参照してください。

コンピュータへの接続

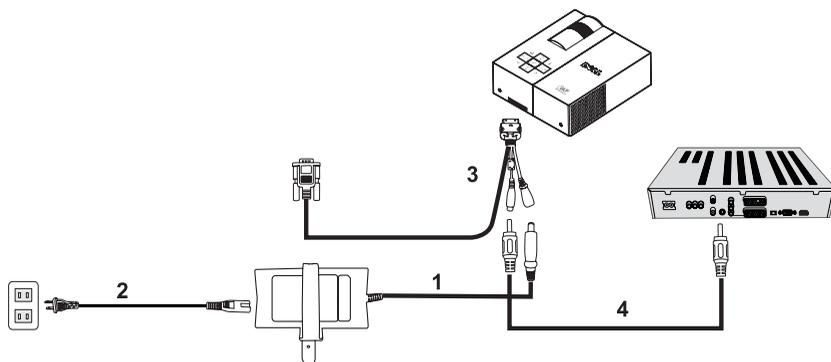
VGA ケーブルによるコンピュータへの接続



1	マルチ入力ケーブル
2	AC アダプタ
3	電源コード

DVD プレイヤーの接続

コンポジットケーブルによる DVD プレイヤーの接続



1	AC アダプタ
2	電源コード
3	マルチ入力ケーブル
4	コンポジットビデオケーブル

 **メモ：**コンポジットビデオケーブルはデルでは提供していません。

プロジェクトの使い方

プロジェクトの電源を入れる

 **メモ：** ソースの電源を入れる前にプロジェクトの電源を入れてください。電源ボタンライトは押下されるまで青色で点滅します。

- 1 マルチ入力ケーブルをプロジェクトに接続します。
- 2 マルチ入力ケーブルを電源コード、および適切な信号ケーブルに接続します。プロジェクトの接続に関する詳細については、「プロジェクトの接続」(7 ページ) を参照してください。
- 3 **電源**ボタンを押します (**電源**ボタンの位置は、「コントロールパネルの使い方」(14 ページ) を参照して確認してください)。
- 4 ソース (コンピュータ、DVD プレイヤーなど) の電源を入れます。プロジェクトは自動的にソースを検出します。
- 5 電源投入時に 10 秒間 Dell のロゴが表示されます。

「信号の検出中 ...」というメッセージがスクリーンに表示されたら、対応するケーブルが確実に接続されていることを確認します。

プロジェクトに複数のソースが接続されている場合は、コントロールパネルのソースボタンを押して、使用するソースを選択します。

プロジェクトの電源を切る

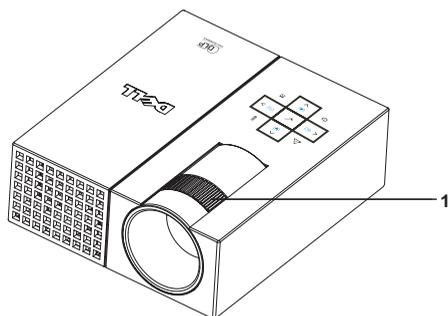
 **注意：** 次の手順に従ってプロジェクトを正しくシャットダウンした後、電源ケーブルをコンセントから抜きます。

- 1 **電源**ボタンを押します。
- 2 再度、**電源**ボタンを押します。冷却ファンは、10 秒間回転し続けます。
- 3 AC アダプタをマルチ入力ケーブルから取り外します。
- 4 マルチ入力ケーブルをプロジェクトから取り外します。

 **メモ：** プロジェクトが作動している間に**電源**ボタンを押すと、スクリーンに「**電源**ボタンを押してプロジェクトの電源をオフにします」というメッセージが表示されます。メッセージをクリアするには、コントロールパネルの**メニュー**ボタンを押すか、メッセージを無視してください。メッセージは 30 秒間に消えます。

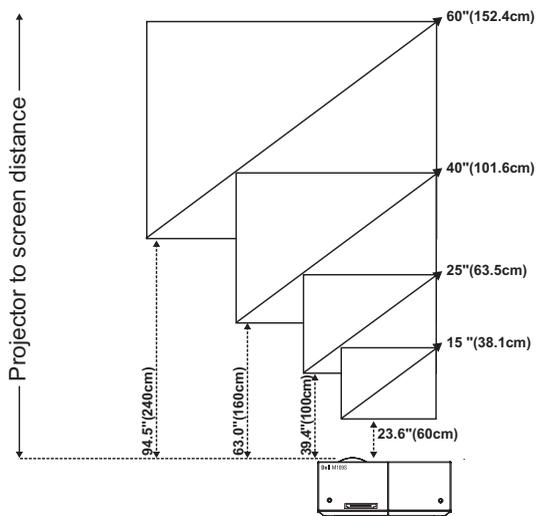
プロジェクタフォーカスの調整

- 1 画像がはっきりと表示されるまで、フォーカスリングを回転させます。プロジェクタの距離は、60 cm ～ 240 cm の範囲で調整できます。
- 2 画像を拡大または縮小するには、プロジェクタを前後に動かします。



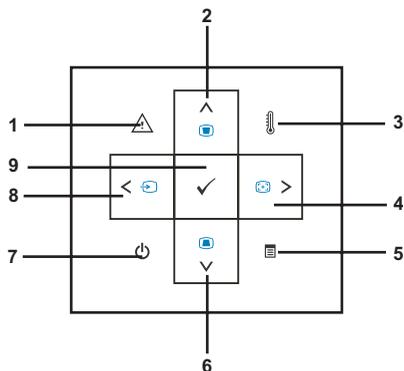
1	フォーカスリング
---	----------

投射画像サイズの調整



スクリーン (対角線)	通常	15" (38.1cm)	25" (63.5cm)	40" (101.6cm)	60" (152.4cm)
スクリーン サイズ	通常 (W×H)	12.3" X 8.6"	20.5" X 14.3"	32.8" X 22.9"	49.2" X 34.4"
		31.2 cm X 21.8 cm	52.0 cm X 36.4 cm	83.3 cm X 58.2 cm	124.9 cm X 87.3 cm
距離		23.6" (60cm)	39.4" (100cm)	63.0" (160cm)	94.5" (240cm)
* この表は参考用です。					

コントロールパネルの使い方



1	エラー LED 	エラー LED が黄色で点滅している場合、いずれかのファンが不良であることを表します。プロジェクタが自動的にシャットダウンします。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください。
2	上  / キーストーン調整 	このボタンを押してオンスクリーンディスプレイ (OSD) 項目を選択します。 このボタンを押して、プロジェクタを傾けたことで生じる画像のゆがみを調整します (± 20 度)。
3	温度 LED 	黄色の点灯は、通気孔がふさがっている、または周囲温度が 35°C を超えているという意味です。通気孔がふさがっていないこと、また周囲温度が適正な温度範囲内にあることを確認してください。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください。

4	右  / 自動調整 	このボタンを押して、OSD の設定を調整します。 このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期させます。オンスクリーンディスプレイ (OSD) が表示されている場合、 自動調整 は動作しません。
5	メニュー 	このボタンを押して OSD をアクティブにします。方向キーと メニュー ボタンを使用して、OSD 間を移動します。
6	下  / キーストーン調整 	このボタンを押して、OSD の項目を選択します。 このボタンを押して、プロジェクタを傾けたことで生じる画像のゆがみを調整します (± 20 度)。
7	電源 	プロジェクタの電源を切ります。詳細については、「プロジェクタの電源を入れる」(11 ページ) および「プロジェクタの電源を切る」(11 ページ) を参照してください。
8	左  / ソース 	このボタンを押して、OSD の設定を調整します。 プロジェクタに複数のソースが接続されている場合、このボタンを押して、アナログ RGB とコンポジットの入力を切り替えます。
9	Enter 	このボタンを押して、選択項目を確定します。

オンスクリーンディスプレイの使い方

プロジェクトには多言語対応のオンスクリーンディスプレイ（OSD）が組み込まれています。OSD は、入力ソースの有無にかかわらず表示させることができます。

メインメニューのタブ間を移動するには、コントロールパネルの ◯ または ◯ ボタンを押します。サブメニューを選択するには、コントロールパネルの **Enter** ボタンを押します。

オプションを選択するには、コントロールパネルの ▲ または ▼ ボタンを押します。項目を選択すると、色が濃い青色に変わります。コントロールパネルの ◀ または ▶ ボタンを使用して設定を調整します。

メインメニューに戻るには、戻る タブに移動してコントロールパネルの **Enter** ボタンを押します。

OSD を終了するには、終了 タブに移動してコントロールパネルの **Enter** ボタンを押すか、直接メニューボタンを押します。

メインメニュー



自動調整



自動調整では、PC モードに合わせて、プロジェクトの周波数とトラッキングが自動的に調整されます。自動調整が実行されている間は、スクリーンに「自動調整中 ...」というメッセージが表示されます。

自動調整では、PC モードに合わせて、プロジェクトの周波数とトラッキングが自動的に調整されます。自動調整が実行されている間は、スクリーンに「自動調整中 ...」というメッセージが表示されます。

入力ソース

入力ソースメニューを使用して、プロジェクトへの入力ソースを選択できます。



自動ソース — **オン**（デフォルト）を選択すると、利用可能な入力信号が自動的に検出されます。プロジェクトの電源が入っているときに **Enter** ボタンを押すと、次に利用可能な入力信号が自動的に検出されます。**オフ** を選択すると、現在の入力信号

が固定されます。**自動ソース** モードが**オフ** のときに、**ソース** ボタンを押すと、入力信号を手動で選択できます。

VGA — **Enter** を押すと、VGA 信号が検出されます。

コンポジット — **Enter** を押すと、コンポジットビデオ信号が検出されます。

ピクチャ（PC モード）

ピクチャメニューを使用して、プロジェクトの表示設定を調整することができます。ピクチャメニューには次のオプションがあります。



ビデオモード —プロジェクトの次のディスプレイモードを最適化できます。**PC**、**明るい**、**sRGB**（正確なカラー表現を提供）、**映画**、**カスタム**（優先的な設定）**白の強度**、または**ガンマ補正**の設定を調整すると、プロジェクトは自動的に**カスタム**に切り替わります。

 **メモ**：**白の強度**、または**ガンマ補正**の設定を調整すると、プロジェクトは自動的に**カスタム**に切り替わります。

明るさ —◀と▶を使用して画像の明るさを調整します。

コントラスト —◀と▶を使用してディスプレイのコントラストを調整します。

白の強度 —色の再現性を最大限に上げるには0、明るさを最大限に上げるには10を設定します。

ガンマ補正 —4つのプリセット値（1、2、3、4）を調整して、ディスプレイの色性能を変更できます。

色温度 —色温度を調整できます。色温度を上げるとスクリーンが寒色系、色温度を下げると暖色系でそれぞれ表示されます。**色調整**メニューの値を調整すると、**カスタム**モードがアクティブになります。値は**カスタム**モードで保存されます。

色調整 —赤、緑、青を手動で調整できます。

信号の種類 —自動、RGB、YCbCr、またはYPbPrの信号の種類を手動で選択します。

ピクチャ（ビデオモード）

ピクチャメニューを使用して、プロジェクトの表示設定を調整することができます。ピクチャメニューには次のオプションがあります。



ビデオモード—プロジェクトの次のディスプレイモードを最適化できます。**PC**、**明るい**、**sRGB**（正確なカラー表現を提供）、**映画**、**カスタム**（優先的な設定）**白の強度**、または**ガンマ補正**の設定を調整すると、プロジェクトは自動的に**カスタム**に切り替わります。

メモ：**白の強度**、または**ガンマ補正**の設定を調整すると、プロジェクトは自動的に**カスタム**に切り替わります。

明るさ—**◀**と**▶**を使用して画像の明るさを調整します。

コントラスト—**◀**と**▶**を使用してディスプレイのコントラストを調整します。

彩度—ビデオソースを白黒から彩度のあるフルカラーに調整できます。**◀**を押すと画像で使用する色の量が減り、**▶**を押すと色の量が増えます。

鮮明度—**◀**を押すと鮮明度が低くなり、**▶**を押すと鮮明度が高くなります。

色合い—**◀**を押すと画像の緑の量が増え、**▶**を押すと赤の量が増えます（NTSCのみ選択可能）。

白の強度—色の再現性を最大限に上げるには0、明るさを最大限に上げるには10を設定します。

ガンマ補正—4つのプリセット値（1、2、3、4）を調整して、ディスプレイの色性能を変更できます。

色温度—色温度を調整できます。色温度を上げるとスクリーンが寒色系、色温度を下げると暖色系でそれぞれ表示されます。**色調整**メニューの値を調整すると、**カスタム**モードがアクティブになります。値は**カスタム**モードで保存されます。

色調整—赤、緑、青を手動で調整できます。

信号の種類—自動、RGB、YCbCr、またはYPbPrの信号の種類を手動で選択します。

ディスプレイ (PC モード)

ディスプレイメニューを使用して、プロジェクトの表示設定を調整することができます。ディスプレイメニューには次のオプションがあります。



縦横比 — 縦横比を設定できます。

- 4:3 - 入力ソースがスクリーンに応じて拡大 / 縮小されます。
- オリジナル - 入力ソースの縦横比を維持したまま、入力ソースがスクリーンに応じて拡大 / 縮小されます。
- ワイド - 入力ソースがスクリーンの幅に応じて拡大 / 縮小されます。

次のいずれかを使用している場合は、ワイド または 4:3 を使用します。

- 解像度が SVGA を上回るコンピュータ

- コンポーネントケーブル (720p/1080i/1080p)

デジタルズーム — を押すと投射スクリーンの画像が 4 倍まで電子的に拡大され、 を押すと拡大した画像が縮小されます。

ズームナビゲーション — を押して投射スクリーンのナビゲーションを行います。

水平位置 — を押すと画像が右へ、 を押すと画像が左へそれぞれ移動します。

垂直位置 — を押すと画像が下へ、 を押すと画像が上へそれぞれ移動します。

周波数 — コンピュータに搭載されたグラフィックスカードの周波数に応じて、ディスプレイのデータクロック周波数を変更できます。縦方向にちらつく波が現れる場合は、**周波数** コントロールを使用して線を低減させます。これは粗調整を行う操作です。

トラッキング — ディスプレイ信号の位相とグラフィックスカードを同期させます。画像の表示が不安定な場合、またはちらつきが生じる場合は、**トラッキング** を使用して修正します。これは微調整を行う操作です。

ディスプレイ（ビデオモード）

ディスプレイメニューを使用して、プロジェクトの表示設定を調整することができます。ディスプレイメニューには次のオプションがあります。



縦横比 — 縦横比を設定できます。

- 4:3 - 入力ソースがスクリーンに応じて拡大 / 縮小されます。
- オリジナル - 入力ソースの縦横比を維持したまま、入力ソースがスクリーンに応じて拡大 / 縮小されます。
- ワイド - 入力ソースがスクリーンの幅に応じて拡大 / 縮小されます。

次のいずれかを使用している場合は、ワイドまたは 4:3 を使用します。

- 解像度が SVGA を上回るコンピュータ
- コンポーネントケーブル (720p/1080i/1080p)

デジタルズーム — を押すと投射スクリーンの画像が 4 倍まで電子的に拡大され、 を押すと拡大した画像が縮小されます。

ズームナビゲーション — を押して投射スクリーンのナビゲーションを行います。

設定

言語、自動キーストーン、キーストーン、メニュー位置、メニューの透明度、メニュータイムアウト、メニューロック、パスワード、およびパスワードの変更の各設定が含まれます。



言語 — OSD に使用する言語を設定できます。



自動キーストーン — プロジェクタを傾けたことで生じる画像のゆがみを自動調整します。

キーストーン — プロジェクタを傾けたことで生じる画像のゆがみを調整します。

メニュー位置 — スクリーン上に表示する OSD メニューの位置を選択できます。

メニューの透明度 — OSD の背景に使用する透明度を変更できます。

メニュータイムアウト — OSD タイムアウトの時間を調整できます。デフォルトでは、何も操作しない期間が 30 秒を超えると OSD が消えます。

メニューロック — **オン** を選択すると、**メニューロック** が有効になり OSD メニューが非表示になります。**オフ** を選択すると、**メニューロック** が無効になり OSD メニューが表示されます。

 **メモ**： **メニューロック** が無効になっている間に OSD が消えた場合、コントロールパネルの**メニュー**ボタンを 15 秒間押しすと、機能が無効になります。

パスワード — パスワード保護が有効になっていると、電源プラグをコンセントに差し込んでプロジェクタに電源が最初に投入されたときに、パスワードの入力を要求するパスワード保護スクリーンが表示されます。デフォルトでは、この機能は無効です。この機能は、パスワードメニューを使用して有効にできます。このパスワードセキュリティの機能は、次回にプロジェクタの電源を入れたときにアクティブになります。この機能を有効にすると、プロジェクタの電源を入れた後、プロジェクタのパスワードを入力するように要求されます。

11 回目のパスワード入力要求：

- a **設定** メニューで **Enter** を押し、**パスワード** を選択してパスワード設定を有効にします。



- b パスワード機能を有効にすると文字スクリーンが現れます。スクリーンから 4 桁の英数字を入力し、**Enter** ボタンを押します。



- c 確認のために、パスワードを再度入力します。
d パスワードが正しく検証されると、プロジェクタの機能やユーティリティへのアクセスに復帰することができます。

2 パスワードの入力が誤っていた場合、後 2 回入力し直すことができます。パスワード入力が 3 回無効になると、プロジェクトの電源は自動的に切れます。

 **メモ**：パスワードを忘れた場合は、デル、または資格を持っているサービス技術者にお問い合わせください。

3 パスワード機能をキャンセルする場合は、**オフ** を選択し、パスワードを入力して機能を無効にします。



パスワードの変更 . 元のパスワードを入力した後、新しいパスワードを入力し、新しいパスワードを再度確認します。



省電力 . **オン** を選択して、機能を有効にします。プロジェクトの電源は、5 分後に自動的に切れます。

その他

戻る		✓	
プロジェクト情報		✓	
テストパターン	オフ	1	2
出荷時にリセット	オン		オフ
メニューの終了			✓

プロジェクト情報 — プロジェクトのモデル名、現在の入カソース、およびプロジェクトのシリーズ番号 (PPID#) が表示されます。

テストパターン — 機能を無効にする場合は、**オフ** を選択します。フォーカス、および解像度に対するセルフテストの内蔵テストパターンをアクティブにするには、1 または 2 を選択します。

出荷時にリセット — プロジェクトを工場出荷時のデフォルト設定にリセットする場合は、**オン** を選択します。リセットの操作では、コンピュータソースとビデオソースの両設定が対象になります。

プロジェクタのトラブルシューティング

お使いプロジェクタに何か問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングのヒントを参照してください。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください。26 ページを参照してください。

問題	考えられる解決法
スクリーンに画像が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> 外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。Dell™ ノートブックコンピュータをお使いの場合は、  (Fn+F8) を押しします。これ以外のコンピュータの場合は、それぞれ該当するマニュアルを参照してください。 ケーブルがすべて確実に接続されていることを確認します。7 ページを参照してください。 ケーブルのピンが曲がったり壊れていたりしないかを確認します。 その他 メニューのテストパターンを使用します。テストパターンの色が正しく表示されることを確認します。
画像が部分的に表示される、スクロール上の問題、正しく表示されない。	<ol style="list-style-type: none"> コントロールパネルの自動調整ボタンを押します。 Dell™ ノートブックコンピュータをお使いの場合は、コンピュータの解像度を SVGA (800 × 600) に設定します。 <ol style="list-style-type: none"> Windows デスクトップで何も表示されていない部分を右クリックし、プロパティ を選択した後、設定 タブを選択します。 外付けモニターの設定が 800 × 600 ピクセルになっていることを確認します。   (Fn+F8) を押しします。 <p>解像度の変更に問題がある場合、またはモニターがフリーズする場合は、すべての機器類およびプロジェクタを再起動してください。</p> <p>Dell™ ノートブックコンピュータをお使いでない場合は、該当するマニュアルを参照してください。</p> <p>問題が解決しない場合は、コンピュータのグラフィックカードドライバ (ビデオドライバ) を最新バージョンに更新して、プロジェクタを再度テストしてください。</p>

問題（続き）	考えられる解決法（続き）
スクリーンにプレゼンテーションが表示されない。	ノートブックコンピュータをお使いの場合は、   （Fn+F8）を押します。
画像が安定しない、またはちらつく。	OSD の ディスプレイ サブメニュー（PC モードのみ）の トラッキング を調整します。
画像に縦にちらつく線が現れる。	OSD の ディスプレイ サブメニュー（PC モードのみ）の 周波数 を調整します。
画像の色が正しく表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> グラフィックスカードからディスプレイへの信号出力が適切でない場合は、OSD のディスプレイ タブで信号の種類を RGB に設定します。 その他 メニューのテストパターン を使用します。テストパターンの色が正しく表示されることを確認します。
画像のフォーカスが合わない。	<ol style="list-style-type: none"> プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整します。 プロジェクタからの距離が 60 cm ～ 240 cm の範囲内でスクリーンが投射されるようにします。
16:9 DVD の表示時に画像が引き伸ばされる。	<p>プロジェクタでは入力信号のフォーマットが自動的に検出されます。投射画像の縦横比は、元の設定に基づく入力信号フォーマットに従って維持されます。</p> <p>画像がまだ引き伸ばされる場合は、OSD のディスプレイ メニューで縦横比を調整します。</p>
温度 LED が黄色く点滅する。	プロジェクタがオーバーヒートしています。ディスプレイは自動的にシャットダウンされます。プロジェクタが冷却した後、ディスプレイの電源を再度入れます。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください。
エラー LED が黄色で点滅する。	プロジェクタのファンが故障しています。プロジェクタは自動的にシャットダウンされます。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください。
OSD がスクリーンに表示されない。	コントロールパネルの メニュー ボタンを 15 秒間押し、OSD をロックを解除します。21 ページの メニューロック を確認します。

仕様

ライトバルブ	0.45" SVGA DMD タイプ Y
明るさ	50 ANSI ルーメン (最大)
コントラスト比	800:1 典型 (フルオン / フルオフ)
不変性	80% 典型 (日本標準 - JBMA)
光源	R/G/B LED モジュール
画素数	858 x 600
表示可能色	16.7M 色
投射レンズ	F/2.0、f=17.67mm 固定レンズ
投射スクリーンサイズ	15 ~ 60 インチ (対角)
投射距離	23.6 ~ 94.5 インチ (60 ~ 240cm)
ビデオ互換性	NTSC、NTSC 4.43、PAL、PAL-M、PAL-N、SECAM、HDTV (1080i、720P、576i/P、480i/P) 互換性 コンポジットビデオ、コンポーネントビデオ
水平周波数	15kHz ~ 100kHz (アナログ)
垂直周波数	43Hz ~ 85Hz (アナログ)
電源装置	+19.5VDC
電力消費	47 W (最大)、1 W 未満 (電源オフモード)
ノイズレベル	32 dB (A) (通常モード) 35 dB (A) (ブライドモード)
重量	360g
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	外部 3.64 x 4.12 x 1.46 ± 0.04 インチ (92.5 x 104.6 x 37.1 ± 1mm)
I/O コネクタ	30 PIN マルチ入力コネクタ

互換モード（アナログ）

解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (KHz)
640 X 350	70.1	31.5
720 X 400	70.1	31.5
640 X 480	59.9	31.5
640 X 480	75	37.5
640 X 480	85	36
800 X 600	60.3	37.9
800 X 600	75	46.9
800 X 600	85.1	53.7
1024 X 768	60	48.4
1024 X 768	75	60
1024 X 768	85	68.7
1152 X 864	75	67.5
1280 X 1024	60	64
1280 X 1024	75	80
1280 X 1024	85	91.1
1440 X 900	60	55.5

デルへのお問い合わせ

米国にお住まいの方は、800-WWW-DELL（800-999-3355）までお電話ください。



メモ：インターネット接続の環境がない場合は、納品書、出荷伝票、請求書、または Dell 製品カタログに記載されている連絡先をご利用ください。

デルでは、複数のオンラインと、電話ベースのサポートおよびサービスオプションを用意しています。利用できる手段は国や製品により異なる場合があります。また地域によっては一部のサービスが受けられない場合もあります。セールス、テクニカルサポート、カスタマーサービスへのお問い合わせは、次の手順を実行してください。

- 1 support.jp.dell.com へアクセスします。
- 2 ページの下にある **Choose A Country/Region（国 / 地域の選択）** ドロップダウンメニューで、お住まいの国 / 地域を確認します。
- 3 ページの左側にある **Contact Us（お問い合わせ）** をクリックします。
- 4 目的のサービスまたはサポートを選択します。
- 5 ご自身に最適なデルへの問い合わせ方法を選んでください。

付録用語集

ANSI ルーメン — 明るさを測定するための規格です。ANSI ルーメンは、単位平方メートルのイメージを 9 個の長方形に等分割し、個々の長方形の明るさ（ルクス）を測定し、9 個の点の平均値を計算して表します。

dB— デシベル — 通常は、聴覚または電子信号の間で電力と強度の相対差異を表す単位で、2 レベルの比率の常用対数の 10 倍に相当します。

DLP®— Digital Light Processing — Texas Instruments により開発された反射ディスプレイの技術で、小型の操作ミラーが採用されています。光はフィルターを通して DLP ミラーに伝送され、ここで RGB 色を配色してスクリーンに画像を映し出します。DMD とも呼ばれます。

DMD— Digital Micro-Mirror Device — 個々の DMD は、隠れたヨークに搭載した数千の傾斜した微細なアルミ合金ミラーで構成されています。

Hz ヘルツ — 周波数の単位です。

NTSC— National Television Standards Committee 米国テレビ放送標準化委員会の略称です。1 秒あたり 30 枚のフレームを 525 本の走査線に分割したビデオフォーマットで放送する北米の標準です。

PAL— Phase Alternating Line の略称です。1 秒あたり 25 枚のフレームを 625 本の走査線に分割したビデオフォーマットで放送する欧州の放送標準です。

RGB— 赤、緑、青 — 通常、3 色にそれぞれ個別の信号で記述するのに使用します。

SECAM— ビデオと放送に関するフランスおよび国際放送規格です。NTSC よりも解像度が高くなります。

SVGA— Super Video Graphics Array の略称 — 画素数は 800 × 600 です。

SXGA— Super Extended Graphics Array の略称 — 画素数は 1280 × 1024 です。

UXGA— Ultra Extended Graphics Array の略称 — 画素数は 1600 × 1200 です。

VGA— Video Graphics Array の略称 — 画素数は 640 × 480 です。

XGA— Extra Video Graphics Array の略称 — 画素数は 1024 × 768 です。

明るさ — ディスプレイ、投射ディスプレイ、または投射デバイスから発せられる光の量です。プロジェクタの明るさは ANSI ルーメンによって測定されます。

圧縮解像度 — 入力画像の解像度がプロジェクタ固有の解像度よりも高い場合、最終的な画像はプロジェクタ固有の解像度に合わせて拡大 / 縮小されます。デジタルデバイスの圧縮特性により、画像構造の一部失われます。

色温度 — 白色光源の光の度合いを表します。色温度が低いと暖色系の光（黄や赤が強い）、色温度が高いと寒色系の光（青が強い）になります。色温度の標準単位は K（ケルビン）です。

キストーン補正 — プロジェクタとスクリーンの角度配置が不適切なことが原因で起きる投射画像のゆがみ上部が広く、下部が細くなる現象を修正する機能です。

コントラスト比 — 画像の中の明るい部分と暗い部分の範囲、または最大値と最小値の間の比率のことです。投射業界では、次の2つ方法でコントラスト比を測定します。

1 **フルオン/オフ** — 完全に白い画像フルオンの光出力と完全に黒い画像フルオフの光出力の比率を測定します。

2 **ANSI** — 16の交互に組み合わせた白と黒の長方形のパターンを測定します。白い長方形からの光出力の平均を、黒い長方形からの光出力の平均で除算して、**ANSI** コントラスト比を算出します。

フルオン/オフコントラストは、同じプロジェクタの場合、必ず **ANSI** コントラストより大きい値になります。

コンポーネントビデオ — オリジナルイメージの要素をすべて反映させた高品質のビデオを転送する手法です。これらコンポーネントはルマとクロマと呼ばれ、アナログコンポーネントでは Y'Pb'Pr'、デジタルコンポーネントでは Y'Cb'Cr' と定義されています。コンポーネントビデオは DVD プレイヤーやプロジェクタで使用可能です。

コンポジットビデオ — ルマ明るさ、クロマ色、バーストカラーリファレンス、および同期信号水平同期信号と垂直同期信号を1つの信号波形に統合して単一の対線で伝送するビデオ信号のことです。NTSC、PAL、および SECAM という3種類のフォーマットがあります。

最小距離 — プロジェクタがスクリーン上で結像できる最も近い位置のことです。

最大画像サイズ — 暗い部屋でプロジェクタが投射できる最大の画像サイズです。通常、光学の焦点範囲により制限されます。

最大距離 — 完全に暗い部屋で使える画像十分に明るさのある画像の投影が可能な、画面からプロジェクタまでの距離です。

縦横比 — 最も一般的な縦横比は 4:3(4 × 3) です。初期のテレビやコンピュータ画面で表示するビデオフォーマットの縦横比は 4:3 です。つまり画像の幅が高さの 4/3 倍に相当するサイズです。

周波数 — 電子信号の1秒間あたりの反復速度を表します。単位は Hz (ヘルツ) です。

焦点距離 — レンズの表面からその焦点までの距離を指します。

対角スクリーン — スクリーンサイズまたは投射画像のサイズを測定する方法です。1つの角から対角線上の角までを測定します。高さ 9 ft (274 cm)、幅 12 ft (365 cm) の画面の対角は 15 ft (457 cm) となります。本書では、上記の例のように、対角サイズは従来のコンピュータの規格である 4:3 比率を基準としています。

索引

お

- オンスクリーンディスプレイ, 16
 - 自動調整, 16
 - 設定, 20
 - その他, 22
- ディスプレイ (PC モード), 19
- ディスプレイ (ビデオモード), 20
- 入力ソース, 16
- ピクチャ (PC モード), 17
- ピクチャ (ビデオモード), 18
- メインメニュー, 16

さ

- サポート
 - デルへのお問い合わせ, 27

し

- 仕様
 - I/O コネクタ, 25
 - 明るさ, 25
 - 画素数, 25
 - 光源, 25
 - コントラスト比, 25
 - 重量, 25
 - 垂直周波数, 25
 - 水平周波数, 25
 - 寸法, 25
 - 電源装置, 25
 - 電力消費, 25

- 投射距離, 25
- 投射スクリーンサイズ, 25
- 投射レンズ, 25
- ノイズレベル, 25
- 表示可能色, 25
- ビデオ互換性, 25
- 不変性, 25
- ライトバルブ, 25

せ

- 接続ポート
 - マルチ入力コネクタ, 7

て

- デル
 - お問い合わせ, 27

と

- トラブルシューティング, 23
 - デルへのお問い合わせ, 24

ふ

- プロジェクトの接続
 - AC アダプタ, 8
 - コンポジットケーブルの接続, 9
 - コンポジットビデオケーブル, 9
 - 電源コード, 9
 - マルチ入力ケーブル, 8
- プロジェクトの電源オン / オフ
 - プロジェクトの電源を切る, 11

プロジェクタの
電源を入れる, 11

プロジェクタフォーカスの調整
フォーカスリング, 12

本体

コントロールパネル, 6

フォーカスリング, 6

レンズ, 6

リ

リモートコントロール, 6